

～可能性を探り未来へつなぐ～

ドリーム通信 vol.5



子どもたちのニーズは多様



市の方針「令和7年度末をもって休日の部活動は行わない」

*ただし、令和8年度は新チーム発足時までは各学校の実情に応じて活動することができます。

- 目指す将来像
- ・生徒が、自主的・主体的に地域クラブ活動に参加できる環境
 - ・生涯にわたり地域でスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる機会を確保し、活動選択の幅を広げる

令和6年度 第1回地域クラブ活動推進協議会を開催

先ごろ、「令和6年度第1回地域クラブ活動推進協議会」が開催され、本市の部活動に関する現状を報告しました。また、エリアコーディネーターの配置や当面の課題なども協議され、その中で、生徒の地域クラブ活動への参加について、情報等が十分に周知しきれていないとの指摘がありました。

そのため、現在配信中の市ホームページや保護者向けメール配信システム「連絡エクスチェンジ」に加え、保護者会や学校だより等で各家庭に印刷物で配布していただくように各学校に依頼しました。

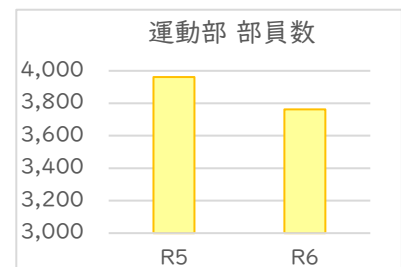
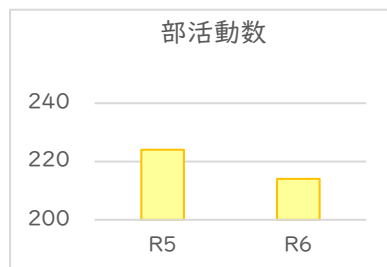
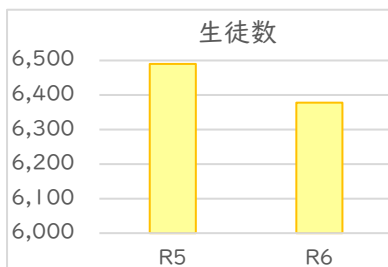
2～3か月に1回の割合で「ドリーム通信」を発行していますので、ぜひご覧いただけますようお願いします。

市内の部活動の現状

	R5	R6	増減
生徒数	6,490人	6,378人	▲1.8%
部活動数	224	215	▲4.1%
運動部 部員数	3,962人	3,762人	▲5.1%
運動部 加入率	61.0%	59.0%	▲2.0%

国の改革推進期間となった令和5年度と6年度を比較しても、生徒数、部活動数、運動部部員数ともに1年間での減少が著しい。

※文化部は令和5年度のデータがないため、掲載していません。



児童、保護者の地域クラブ活動に関する意識や実態は??

本市では「令和7年度末で休日の部活動を廃止する」という方針のもと、市内4つのエリアを中心にできるところから地域クラブ活動へ参加できるよう取組を進めています。

その取組を進めるにあたり、地域クラブ活動推進協議会や各部会で協議しながら、子どもたちがやりたいと思う活動や中学生が多様な活動に参加できる環境を整えていく際の参考とするため、ニーズ調査を実施しました。

<対象者> 市内公立小学校の第4・5・6学年児童及びその保護者

<期間> 令和6年6月5日～令和6年6月20日

<方法> WEB 回答

<回答数> 児童:5,787人 / 6,295人(回答率91.9%)

保護者:3,190人 / 6,295人(回答率50.6%) ※児童一人につき1回ずつ回答



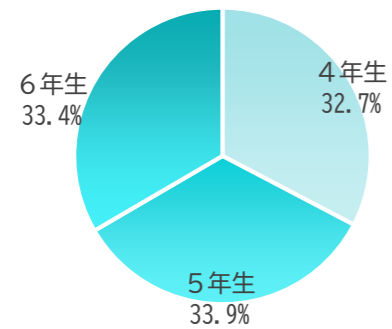
全ての調査結果は、右記のQRコードからご覧いただけます。 地域移行に関する情報(市HP)➡

児童(4・5・6年生)

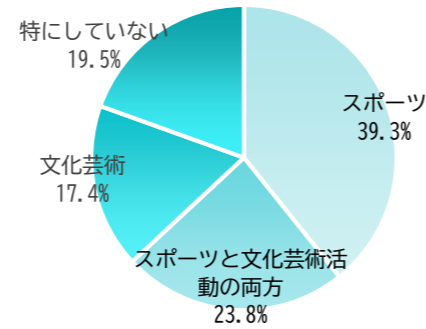


地域クラブ活動に関するニーズ調査結果の一部をご紹介します。表は回答数の多かった項目のみを掲載しています。

Q あなたは何年生ですか。



Q 学校の活動以外で、習い事としてスポーツ活動や文化芸術活動をしていますか。



習い事としてスポーツや文化芸術活動には、約8割の児童が参加している。また、スポーツをしている児童は約6割である。

Q 現在、どんな活動をしていますか。(複数回答) (スポーツ活動をしている人のみ回答)

種目	児童数(人)
水泳	1,294
サッカー	520
バスケットボール	366
軟式野球	303
陸上競技	299
バドミントン	277
体操	172
ヒップホップダンス	172

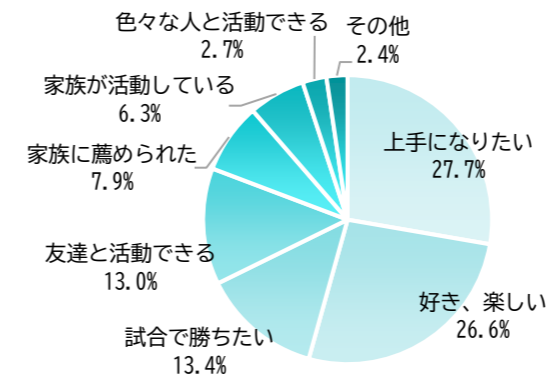
参加している児童が最も多いスポーツ活動は「水泳」で、次いで「サッカー」、「バスケットボール」、「軟式野球」が多い。

Q 現在、どんな活動をしていますか。(複数回答) (文化芸術活動をしている人のみ回答)

文化芸術活動	児童数(人)
書道・習字	919
ピアノ・エレクトーン	908
英会話	850
算数・数学	325
太鼓	97
バレエ	88
チアダンス	87
理科 ※天体、昆虫、植物、化石など	46

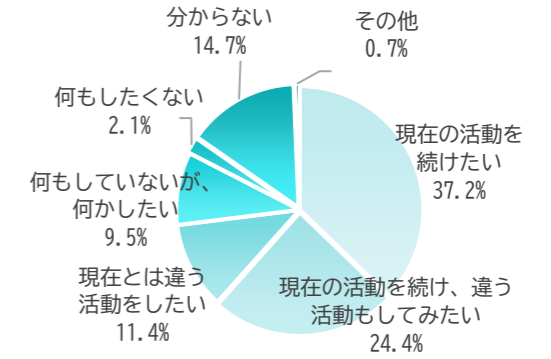
参加している児童が最も多い文化芸術活動は、「書道・習字」、「ピアノ・エレクトーン」、「英会話」、「算数・数学」が多い。

Q 活動への参加理由



スポーツや文化芸術活動に参加している児童の5割強が「上手になりたいから」、「好きだから、楽しいから」との理由で活動している。

Q 中学生になってからの活動意向



中学生になってからは、現在している活動を続けたいと思っている児童が61.6%、現在とは違う活動や現在の活動に加えて違う活動を始めたいと思っている児童が45.3%いる。一方、何もしたくないと思っている児童は約2%と、ほとんどの児童が中学生になったら何らかの活動をしたいと思っていることが伺える。

Q 始めてみたいスポーツ活動(複数回答) (始めてみたいと回答した人のみ回答)

種目	児童数(人)	%
バドミントン	574	8.2
バレーボール	508	7.3
バスケットボール	468	6.7
卓球	429	6.2
水泳	356	5.1
サッカー	354	5.1
陸上競技	336	4.8
トランポリン	269	3.9
体操	231	3.3
軟式野球	227	3.3

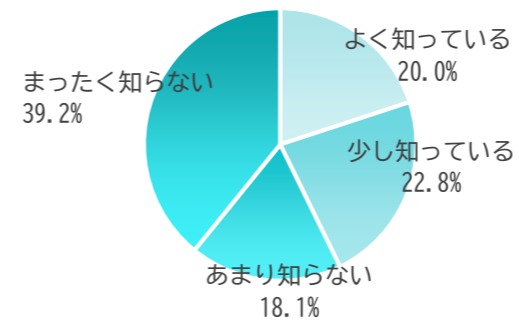
最も人気のある活動は「バドミントン」、次いで「バレーボール」、「バスケットボール」など中学校において部活動で行われている種目が上位にある。

Q 始めてみたい文化芸術活動(複数回答) (始めてみたいと回答した人のみ回答)

文化芸術活動	児童数(人)	%
家庭・クッキング	425	9.2
ピアノ・エレクトーン	360	7.8
美術・工芸	321	6.9
書道・習字	270	5.8
英会話	240	5.2
手芸	233	3.3
理科	225	3.2
ギター	201	2.9
茶道	189	2.7
合唱	183	2.6

「家庭・クッキング」が一番多く、次いで「ピアノ・エレクトーン」、「美術・工芸」なども多い。クッキング、手芸、茶道などの家庭的な活動やピアノ、ギター、合唱などの音楽的な活動をしてみたい児童が多くいることがわかる。

Q 令和8年度から休日の中学生の部活動を行わないことを知っていますか

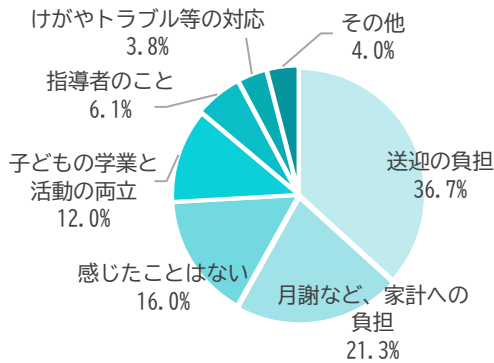


4割強の小学生が、休日に部活動を行わないことを知っている。



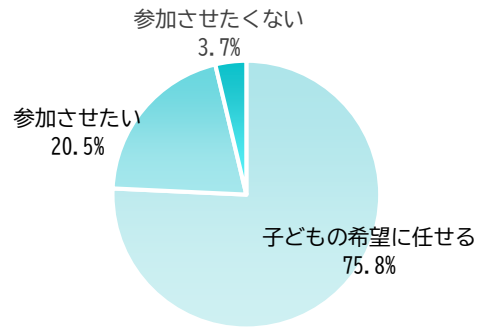
保護者

Q 子どもがスポーツや文化芸術活動をしていて、困り感を感じたことはありますか。（子どもが活動している人のみ回答）
（複数回答）



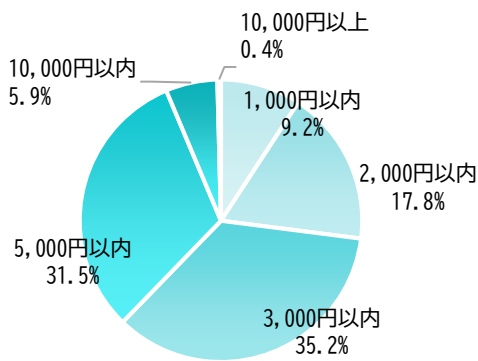
送迎の負担や月謝・家計への負担などが多い反面、困り感を感じたことのない割合も高い。

Q 子どもが中学生になったら、休日に、地域クラブ等の活動に参加させたいと思いますか。



休日に地域クラブ活動へ参加させたい保護者は20.5%で、75.8%の保護者は子どもの希望に任せると回答している。

Q 地域クラブ活動等の月謝は、どの程度が妥当だと思いますか。



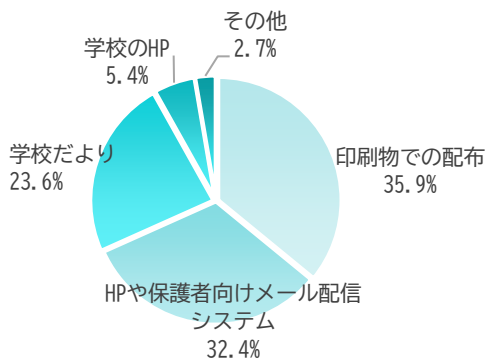
妥当だと思う月謝額は、3,000円以内が35.2%と最も多く、次いで5,000円以内が31.5%と、3,000円から5,000円を妥当と思う割合が高い。

Q 休日の地域クラブ活動等について、どのようなことに関心がありますか。（複数回答）

理由	保護者数(人)
活動時間(練習時間や練習時間帯)	2,341
活動場所までの送迎	2,183
地域にどんなクラブがあるか	1,653
指導者の方針や指導方法	1,585
地域に参加できるクラブがあるか	1,565
指導者の人材不足や指導者の質	1,091
けがやトラブルへの対応	831

保護者は活動時間や活動場所までの送迎、地域にどのようなクラブがあるか、指導者の方針等に関心がある。

Q 保護者の皆様に広く地域クラブ活動の趣旨や内容を知っていただくためには、どのような方法がよいと思いますか。



現在、市ホームページや保護者向けメール配信システム「連絡エクスチェンジ」で配信しているが、学校だよりや印刷物など、紙面での周知方法が最も多い。

地域クラブ活動の調査を行います！

中学生が休日に参加可能な各スポーツ・文化芸術団体等の調査を行います。各クラブ等の皆様には、子どもたちの多様なニーズを参考にいただき、調査回答にご協力をお願いします。

中学生が参加可能な活動の団体情報は、秋頃に市ホームページに掲載を予定しています。



お問合せ先

福井市大手3丁目10-1 福井市教育委員会事務局 学校教育課(文化部) 0776-20-5350

保健給食課(運動部) 0776-20-5755

2024年(R6)8月発行

ドリーム通信 vol.1~4はホームページからご覧ください →

